

流清

佐賀市立川上小学校 学校だより No.11
 令和2年10月13日(火) 発行 文責 永原 里美
 学校教育目標【ふるさとを愛し、ともに学び合い、
 心豊かに逞しく生きる子どもを育てる】
 学校HP
<https://www.education.saga.jp/hp/kawakami-e/>



大盛況に終わった特別な運動会



11日(日)の運動会に、朝早くから応援にかけつけてくださいまして本当にありがとうございました。今年度は、新型コロナウイルス感染症という未知のウィルスのために、開催も危ぶまれ、短縮版の特別な運動会とせざるを得ませんでした。盛り上がりぶりは例年にまったくひけをとらないでできたことと自負しています。6年生を中心にできることをできる分で工夫する姿は、変化の多いこれからの時代を生きる糧にもなったことと思います。一生懸命活動する子どもたちの輝く姿は、我々大人に感動をくれますね。一つの目標に向かってみんなで取り組んだこの経験が、子どもたちを一回り成長させてくれたように思います。

<1,2年生>



1年生にとっては初めての運動会。広い運動場を使っての全員リレーや徒競走は走り甲斐があったかもしれませんね。2年生のダンスは、かわいいながらも1年先輩の頼もしさが垣間見られました。

<3,4年生>



3年生の徒競走は、トラックを走るため初めてのカーブがありました。うまくカーブを乗り切れたでしょうか。ダンスはお父さん・お母さん方にとっては懐かしい曲。でも、3,4年生の皆さん、今後の学校生活ではつっぱらないでくださいね。

<5,6年生>



コロナ禍のため組技ができず、全部一人技で構成しました。一人技でも集団で息を合わせるとりっばな集団演技になるところを見せてくれました。先生達が演技構成に知恵を絞った力作でした。



<川上ソーラン>



川上伝統のソーランの振り付けです。ソーラン隊が練習に励み、勇姿を披露しました。例年なら保護者の皆様と一緒に踊るところでしたが、今年は感染症対策として子どもたちだけとさせていただきます。



<応援合戦>



各団とも笑いも取り入れ趣向を凝らした見応えのある応援合戦でした。現代っ子は、アイデアが豊かですね。あまりに声を出し過ぎたためか、声がつぶれた子もいて心配しましたが、本番ではなんとか快復し、練習の成果を発揮できたようです。凛としたカッコよさは、下級生が応援団のマネをして遊んでいるほどでした。

<解団式>



総合優勝赤組、応援優勝白組。それぞれよく闘いました。きっと応援団はこの経験を通し、大きな達成感を味わうと共に、今後の生活に生かしてくれるものと思います。

<全校で取り組んだ盛り上げる工夫>



全校で作った看板やカーランドフラッグが運動会の雰囲気をも盛り上げました。

<PTAからの奇贈テント>



3タッチで組み立てられる便利なテントを寄贈していただきました。とっても助かりました。